

評価表(評価項目一覧)

評価項目	評価基準	配点
1. 応札者の経験・能力		50
1)類似業務の経験	・本業務と同等規模以上のシステム開発の実績を有しているか ・JICAの業務知識を獲得可能な業務経験を有しているか ・上記いずれかに該当するプロジェクト経験を3件以上保有しており、かつ類似性がより高い経験を有している場合に高く評価する	30
2)応札者の能力	業務従事者の交代・追加等に対して、プロジェクト推進への影響を最小化して迅速に人材リソースを確保できる社の体制があるか	5
3)資格・認証等	・提案者として以下の資格・認証を有している場合に加点する。 ・システム開発に関する資格(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等) ・マネジメントに関する資格(ISO9001等) ・情報セキュリティに関する資格・認証(ISO27001、ISMS、プライバシーマーク等) ・女性活躍推進法に基づく「えるぼし認定」 ・次世代育成支援対策推進法に基づく「くるみん認定・プラチナくるみん認定」 ・若者雇用促進法に基づく「ユースエール認定」 ・その他、本業務に関すると思われる資格・認証	15
2. 業務実施方針等		105
1)業務実施に係る基本方針	・本業務の目的やJDR事務局の業務内容を正しく理解した上で、提案の基本的な考え方、取り組み方、技術的優位性等について業務実施における基本方針が明確に提案されているか。	10
2)システムの実現性	・業務仕様書で求めている必須要件に対して、実装されることが提案されているか。 ・利用者の業務シーンなども考慮し使いやすさに配慮した形で、機能の具体的な実現方法についても提案がされているか。特に資機材の梱包管理の実現方法について提案があれば評価する。 ・提案者独自のノウハウ、類似案件の経験・教訓に基づき、具体的、効果的な機能が提案されている場合は評価する。	35
3)業務実施方法(留意点)	・本業務の推進にあたり必要となる作業項目及び作業内容・留意点などが作業工程(フローチャート・作業工程計画書等)として具体的に提案されているか。	20
4)プロジェクト管理方針	・本業務に係るプロジェクト管理方針が具体的に提案されており、かつ、本プロジェクトの規模や特性、JDR事務局の体制等を踏まえた内容になっているか。 ・提案されているプロジェクト管理手法は、提案者の中で十分に実績を積んできた手法に基づく内容であるか。	10
5)納入機器候補リスト	・適切な機器の提案があるか。	5
6)業務実施体制(要員計画・バックアップ体制)	・要員構成や役割分担が記述されており、その内容が具体的で適切な内容であるか ・平日は、電子メールや電話などで、連絡が取れ、必要な場合は、JICA本部での緊急の対応を行うことができる業務実施体制 ・受注が決定した場合に、要員配置を速やかに進められる準備が整っているか	10
7)業務実施スケジュール	・マスタスケジュールや各工程のマイルストーンが本プロジェクトの特性や制約条件を踏まえた適切な内容になっているか ・詳細スケジュールが示されており、その内容が具体的でかつ根拠や実現性が明確であるか	15
3. 業務総括者の経験・能力		30
業務総括者の推薦理由	・業務総括者について本業務を実施するために有効であることを示す推薦理由が妥当であるか。	5
業務総括者の経験・能力等	・これまでの業務経歴や保有資格等が、本業務を総括者として遂行する上での信頼性につながるものであるか ・類似性の高いプロジェクトでの管理経験、または業務従事経験があるか ・総括者の役割に対して、従事率は妥当な内容であるか ・設計からシステム導入まで、一貫して総括者としての立場を全うできる見込みがあるか	15
特筆すべき類似業務の経験	・政府機関の情報システムにかかる指針等に準拠したセキュリティ・コンプライアンスにかかる要件定義ができるか。(CSIRTにかかる検討を含む) ・医療情報を扱う情報システムにかかる指針等に準拠した健康情報を扱うシステム導入・開発にかかる要件定義ができるか。 ・DX推進(紙情報の廃止を含む)、BCP体制の構築等のシステム導入の目的に対して、適切な「システム導入による効果測定指標」の策定ができるか。 ・政府機関のシステム導入・開発にかかる全般的な知識を有しており、問合せに対する受付及び回答ができるか。	10
4. その他の提案		15
その他の提案	業務仕様書で求めている要件以外に提案者の実績・知見等に基づく、独自の提案事項があり、それがJICAにとって有益な内容であれば高く評価する	15
合計		200